

J E N E S Y S 2 . 0

中国大学生訪日団第 16 陣

訪問日程 平成 26 年 11 月 20 日（木）～11 月 27 日（木）

1 プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した中国大学生訪日団第 16 陣計 124 名が、11 月 20 日から 11 月 27 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。（団長：劉子敬（リュウ・シケイ）
中国日本友好協会 理事）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、東京都、長野県、神奈川県を訪問し、日本の大学生や地域の学生・市民との交流の場を通じて、友好交流と相互理解を深めたほか、日本の法学・国際関係・囲碁に関するプログラムや政治・歴史・文化・社会等さまざまな視察、参観を通じ、クールジャパンに直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

11 月 20 日（木）

成田国際空港より入国、オリエンテーション

11 月 21 日（金）

共通：日中関係に関する講義、歓迎会

第 1 グループ：学習院大学訪問・交流

第 2 グループ：早稲田大学訪問・交流

第 3 グループ：早稲田大学キャンパスツアー、先端技術館 TEPIA 見学

11 月 22 日（土）

第 1・2 グループ：皇居二重橋見学、国会議事堂視察、国立科学博物館・浅草寺見学

第 3 グループ：日中韓大学生囲碁交流 2014 参加

11 月 23 日（日）

第 1・2 グループ：長野県へ移動、松本城見学、和風温泉旅館での日本文化体験

第 3 グループ：日中韓大学生囲碁交流 2014 参加

11 月 24 日（月）

第 1・2 グループ：長野の学生との交流（善光寺・松代見学、日本文化体験、
昼食交流会）

第 3 グループ：皇居二重橋見学、国会議事堂視察、長野県へ移動

11 月 25 日（火）

第 1 グループ：東京都へ移動、法務省法務史料展示室視察、最高裁判所訪問

第 2 グループ：東京都へ移動、（一社）共同通信社訪問

第 3 グループ：善光寺見学、大町市ボランティアと市内見学・囲碁交流、和風温泉旅館での日本文化体験

11月26日（水）

第1・2グループ：横浜市政策局国際政策室による講義、横浜みなと博物館・カップ
ヌードルミュージアム見学

第3グループ：東京都へ移動、国立科学博物館・江戸東京博物館見学

共通：歓送報告会

11月27日（木）

共通：商業施設視察、成田山新勝寺見学、成田国際空港より帰国

3 写真

	
11月21日 宮本雄二日中友好会館副会長による日中関係に関する講義（東京都）	11月21日 宮本雄二日中友好会館副会長による日中関係に関する講義（東京都）
11月21日 日中友好会館宮本雄二副会長の日中关系讲座（東京都）	11月21日 日中友好会館宮本雄二副会長の日中关系讲座（東京都）
	
11月21日 学習院大学訪問・交流（東京都）	11月21日 早稲田大学訪問・交流（東京都）
11月21日 学習院大学访问交流（東京都）	11月21日 早稲田大学访问交流（東京都）
	
11月21日 早稲田大学キャンパスツアー（東京都）	11月21日 先端技術館 TEPIA 見学（東京都）
11月21日 参观早稻田大学校园（東京都）	11月21日 参观先端技术馆 TEPIA（東京都）

	
11月21日 歓迎会で挨拶する劉子敬団長 (東京都)	11月21日 歓迎会で江田五月日中友好会館会長へ記念品を贈呈 (東京都)
11月21日 刘子敬团长在欢迎会上致辞 (东京都)	11月21日 在欢迎会上向日中友好会馆江田五月会长赠送纪念品 (东京都)
	
11月22日 国会議事堂視察 (東京都)	11月22日 国立科学博物館見学 (東京都)
11月22日 考察国会议事堂 (东京都)	11月22日 参观国立科学博物馆 (东京都)
	
11月22日 浅草寺見学 (東京都)	11月22日 日中韓大学生囲碁交流 2014 (東京都)
11月22日 参观浅草寺 (东京都)	11月22日 日中韩大学生围棋交流 2014 (东京都)

	
11月23日 日中韓大学生囲碁交流 2014 (東京都)	11月23日 松本城見学 (長野県)
11月23日 日中韓大学生囲碁交流 2014 (東京都)	11月23日 参观松本城 (長野県)
	
11月24日 長野の学生との交流(善光寺見学) (長野県)	11月24日 長野の学生との交流 (日本文化体験) (長野県)
11月24日 与長野県学生交流 (参观善光寺) (長野県)	11月24日 与長野県学生交流(体验日本文化) (長野県)
	
11月24日 皇居二重橋見学 (東京都)	11月25日 法務省法務史料展示室訪問 (東京都)
11月24日 参观皇居二重桥 (東京都)	11月25日 访问法务省法务史料展示室 (東京都)

	
11月25日 最高裁判所訪問（東京都）	11月25日 （一社）共同通信社訪問（東京都）
11月25日 访问最高法院（东京都）	11月25日 访问共同通信社（东京都）
	
11月25日 大町市の囲碁愛好者と囲碁交流（長野県）	11月25日 和風温泉旅館での日本文化体験（長野県）
11月25日 与大町市围棋爱好者进行围棋交流（長野県）	11月25日 在日式温泉旅馆体验日本文化（長野県）
	
11月26日 横浜市政策局国際政策室による講義（神奈川県）	11月26日 横浜市政策局国際政策室による講義（神奈川県）
11月26日 横浜市政策局国際政策室講座（神奈川県）	11月26日 横浜市政策局国際政策室講座（神奈川県）

	
11月26日 横浜みなと博物館見学(神奈川県)	11月26日 カップヌードルミュージアム見学(神奈川県)
11月26日 参观横浜港博物馆(神奈川県)	11月26日 参观日清合味道纪念馆(神奈川県)
	
11月26日 江戸東京博物館見学(東京都)	11月26日 歓送報告会 訪日成果報告(東京都)
11月26日 参观江戸东京博物馆(東京都)	11月26日 团员在欢送报告会上汇报访日成果(東京都)
	
11月26日 歓送報告会(東京都)	11月27日 成田山新勝寺見学(千葉県)
11月26日 欢送报告会(東京都)	11月27日 参观成田山新胜寺(千葉県)

4 参加者の感想

○ 学習院大学の学生による企業の雇用制度に関する報告が印象深い。本テーマには日本社会の現実と、若者が直面する苦境が反映されていた。同年代の学生との交流から、真の姿の親しみある日本を垣間見ることができた。日本の学生が整備された制度のもと、健全に将来へのチャレンジに挑めるよう心から願っている。

帰国後は、日本の先進的な生活環境や、親切で礼儀正しい人々の様子を伝え、日本に関する歴史書を読もうと思う。民族の歴史を知ることはその未来の理解に必ず役立つだろう。中日関係の将来を論理立てて考え、その発展に関心を寄せ、推進していきたいと強く思う。

○ 長野県で17歳の女子高生と交流する機会があった。私たちは初めて会ったと思えないほど意気投合した。彼女は英語でびっしり説明を書き込んだ紙3枚を手に、一生懸命に善光寺を案内してくれた。私たちを兄姉のように慕ってくれ、真っ暗な中でのお戒壇巡りでは、手を繋いで歩いてくれた。文化や言葉の違いを感じず、心が寄り添う感動を覚えた。また、長野県で華道体験をした。生け花がこんなに技術を要するとは知らなかった。先生のご指導が無かったら、仕上げることは不可能だった。私の日本語力で足りない部分は動作を交えながら、何とか作品を完成させた。おばあちゃん先生はとても優しく、生け方の解説図とご自分の作品を私に下さった。自分の祖母と錯覚するほど温かい方だった。

日本の皆さんの友情と熱意、先進的な科学技術、規則を遵守する精神、徹底したサービス意識を回りの人々に伝えようと思う。

○ 一週間の交流活動で、宮本先生の素晴らしい講義、荘厳な日本棋院、トリプル碁の魅力、和風旅館での浴衣・日本料理・お酒・温泉など、有意義で楽しい思い出を刻んだ。その中でも11月23日午後、日本棋院での連碁試合が印象深い。

昼食後、中日韓の青年棋士が各グループに分かれ対局を開始した。最初は自分のチームメートが誰かも良く分からなかったが、徐々に団結し合い、言葉の壁を乗り越え、手振り顔付きで進めていった。最後には長年のチームメートのように心をつなげることができた。私はチームのまとめ役を担当したので、その思いは更に強く、チームメートからの信頼に感動した。勝負が付くまで打ち終われなかったが、私たちのまいた友情の種は開花し、実を結んだと言える。

自分が体験して初めて結論を出せるものだ。新世代を担う青年は、自分の体験を通して、判断を下すべきであると深く感じた。

○ 日本の皆さんが中日関係や中国に対し、高い関心を寄せているのには驚いた。私は大学で国文学を専攻しており、文化交流に関心がある。滞在中、印象深かったのは、歓迎会で日中友好会館会長に中国画を贈った時のことだ。会長は、洛陽の牡丹が有名なこと、ご自分の故郷と洛陽が友好都市であること、かねてから牡丹を愛していると話し下された。そして若輩者の私に深々と頭を下げお礼を言って下さり、本当に感動した。また、長野では、年長者の茶道の先生が、趣のあるお茶室で、心をこめてお茶を立てて下さった。中国の大学生に自ら丁寧に作法を伝授して下さい、外国人が茶道のどのような点に興味を寄せるか、ひいては哲学的な生き方についてまで話しして下さい。仕事への真剣さと厳しさは言うまでもなく、伝統文化に対する畏敬

の念をお持ちの先生に大きな感動を覚えた。同時に、中国の伝統文化が徐々に軽んじられていると強く感じる。善光寺で七五三のお祝いを見たのも印象深い。着物姿の可愛い女の子が、御坊様に頭を撫でて頂くのを神妙に待っていた。茶道や成人の儀は本来中国から伝わったのに、異国でこれほど尊重され、発展を遂げていることに深く感動すると共に、中国の伝統文化をもう一度見直し、盛り上げていきたいと思った。

横浜市の講義や学習院大学での授業に参加し、日本が中国との協力関係を重視し、中国の法治へ期待していることを感じた。日本人の中国に寄せる関心、期待、思いを必ず中国で伝えていく。こうした活動が中日友好関係を促進するばかりか、中国人自身を啓発することにもなる。日本人の中国文化への興味の高さ、文化保護に対する情熱、中国人がこうした状況を知ること、我々も自国の特色を発揚し、双方の交流や学び合いを通して更に伝統文化を継承していくことができるだろう。

○ 日本訪問は二度目で、普段から日本文化に興味を持っている私は、今回の訪問の重点を「国民の政治意識」に置いた。しかし、日本人は両国間の政治に対して予想以上に関心を持っていなかった。逆に食品安全、環境保護など生活面の話題に注目していた。これは私の対日観を変えた具体例だ。

国際関係を専攻する私は、中日の政治問題を避けて通れない。しかし今回、早稲田大学や長野県での交流、また共同通信社の訪問を通し、政治が一般国民に及ぼす影響は非常に小さく、両国交流の妨げにはならないと知った。人々は互いの興味の差、文化の違いにより関心を持っていた。しかし、政治は正常な交流にまで影響を及ぼす。両国の政治問題は短期間で解決されないかもしれないが、外交を促し、中日両国の理解や共感を深めることを一般市民は願っている。

○ 今回の訪日活動では長野県の松本城跡での見学が大変印象深い。私たちが中国語を話していると、一人のお婆さんが歩み寄り、私の手を優しく握り、「どこから来たの？日本はどう？」と尋ねた。北京から来たこと、日本は美しく空気も美味しいと答えたら、お婆さんは大喜びだった。他のお爺さん、お婆さんも私たちが北京大学の学生だと聞いて一緒に記念写真を撮ろうと私たちを囲み、大変感動した。日本人は礼儀正しいが、冷たい印象を持っていた。しかし、私たちを孫娘のように優しく接して下さったお年寄りを思い出すと、今でも心が温かくなる。

帰国後、家族や友人に両国民は相違点より共通点が多いことを伝えたい。人間が望み、愛し、求めるものには変わりはないし、生活の中で出てくる感情だって一緒だ。こうした点で私たちには少しの違いも無い。両国の文化は密接に関係している。恐らく中国全土に存在する地域間差の方が、中日間の差より大きいだろう。周恩来総理の「小異を残して大同につく」の言葉の通り、お互いを理解、尊敬し、偏見や誤解を捨て去ることが大事だ。今後も憶測や固定観念を捨て、顔の見える交流で、お互いの考えを理解し合いたい。これが問題を解決するベストな方法だと思う。私の身近な人に日本を理解し、体感するよう伝えたい。

○ 訪日活動に参加して日本や日本人への理解が深まり、印象は良くなった。日本の清潔な環境、整備された公共施設、礼儀正しく奥ゆかしい日本国民、秩序だった仕事環境が好きになった。日本は小さいが、計画だった開発がなされ、街中の緑化も進み、非常にきれいだった。

学習院大学を訪問し、学生との交流を通し、成年後見制度を知り、興味を覚えた。中国でも今後、参考にできるだろう。また、日中友好会館での講義を通し、21 世紀の中日関係を深く理解できた。そして、法治国家の建設に際し、日本から多くを学び、日本の成功例を手本としたい。法務に携わる人間として、責任感と使命感を高め、法治国家実現の過程で更に努力をしていきたい。

○ 私は共同通信社への訪問が印象深い。社屋に入ると、目前に広がる仕事場風景に圧倒され、深く感服した。日本人は真面目に仕事に取り組み、そのため仕事のストレスも相当だと聞いていたが、実際にこの目で見た途端、それらがどんなに表面的だったか思い知った。細分されたスペース、ハイテンポで繰り上げられる作業、仕事を愛する者でなければ、このような環境で毎日働くのは不可能に近いと感じた。帰国後は、私が目にした日本の清潔さ、人々の仕事を敬愛する心構え、時間を厳守する意志、礼儀正しさを友人に話して聞かせたい。

○ 出発前、訪日経験のある友人から、日本は環境が素晴らしく、絶対に行く価値のある国だと聞かされた。そして、自分の足で日本の地を踏み、清潔で美しい環境を目にした時、言葉も無かった。成田からホテルまでの道々、ゴミは見当たらず、路肩に駐車し歩行者を妨害するような車は皆無だった。これらは日本国民の質の高さ、環境を大切にする意識の成せる業だと思った。中国人が見習うべきで、身近な人たちに必ず伝えたい。

また、科学技術のレベルの高さも印象深い。先端技術館 TEPIA では医療・インフラ・生活面などの先進技術を見学し、ハイレベルな科学技術をより身近に感じた。館内を見学しながら、中国の先端技術も相当に進んでいるのに、中国製品がハイクオリティーの代名詞になれない理由を考えた。中国は数十年の発展史で世界から注目される経済成長を遂げ、科学技術でも多くの成果を上げた。しかし、世界トップレベルとの間には依然として差があることを強く認識し、研究者や政府は中国の知恵を製品に更に盛り込むよう努力をするべきだろう。これらも私が友人に伝えたいメッセージである。

○ 今回の活動で印象深いのは 11 月 26 日の横浜のカップヌードルミュージアム見学だ。手作り作業はもちろん楽しかったが、スタッフの温かいサービスが心に残っている。3 階でウロウロしていた私に、スタッフのおばさんが「カップヌードルを手作りできますよ」と教えてくれた。そして、カップヌードル手作りコーナーまで親切に案内してくれ、料金の支払いを手伝ってくれた。たった 7 日間の滞在で、このような親切を多く体験した。日本人は実に熱心に仕事に取り組んでいた。

また、訪問先では日本人の熱い友好の心を感じた。早稲田大学の学生は聡明で、流暢な中国語を話し、非常に楽しい交流が出来た。異なる国家に暮らしていても、大学生としての楽しみや悩みは似ている。試験を心配し、恋愛に喜びを感じたりするものだ。また、長野県の高校生は英語力も高く、英語学習について話し合った。若者の心はオープンで、包容力がある。青少年の交流は両国関係の未来であり、こうした交流を自らも促進していきたいと思う。

○ 日本人は生真面目だと聞いていたが、料理の細やかさ、時間厳守の態度には本当に驚いた。

日本人は冷淡だとの声も聞いていたが、実際の交流を通して心からの友好を感じることが出来た。特にお爺さん、お婆さんはとても親切で気さくだった。

私たちは日本棋院を訪問し、日韓の学生棋士と腕を磨き合った。交流を通じ友情を感じると共に、現在の囲碁界では中国が優勢であり、現状を維持しながら精進することに更なる自信を持った。私たちは長野県大町市で現地の囲碁愛好者とも友好試合を行った。日本では囲碁が広く普及しており、参考にしたい点がたくさんあった。また、自然科学を専攻する私は、国立科学博物館と早稲田大学の訪問を通して、日本では同分野が飛躍的に進展していることを知った。今回の活動で実に多くの成果を得た。

○ 今回の訪問で、日本人の環境保護に対する意識の高さが印象深い。東京から長野まで、横浜から成田空港まで移動したが、目に入るものはとても清潔で美しく、私は中国の環境を憂慮した。各施設の見学や交流活動から、日本がこれほど清潔な根本的理由が分かった。日本国民は環境保護に対して各人が努力をしている。ゴミの分別から排ガス規制まで、小さな取組みが大きなうねりとなり、国の環境保全が大きな成果を上げていた。なぜ日本国民にこのように素晴らしい環境保護意識が根付いたのだろうか。なぜ中国国民はこのような良好な素質がないのか。これは日本の法律制度と密接な関係があると思う。また、国土が小さく、人口分布が密集し、資源が乏しく、輸入に頼っている島国ゆえの結果であるとも思う。そうした状況に直面する日本国民は、法律や技術を活用して環境の改善に取り組んで来た。さもないと 1960 年代の公害問題を解決することは難しかったと思う。現在の中国はかつてのように豊富な資源を有する国ではなくなった。環境問題を重視し、法律や技術を更に発展させなければ、社会発展の前途に横たわる大きな障害を取り除くことはできないだろう。現在も大気汚染など問題が見られている。自分の手で環境を守ることの大切さを皆に伝えていきたいと思う。